

筑前剣道部だより

2022年8月号

-思無邪- NO. 7 CHIKUZEN



玉竜旗を終えて

令和4年7月25日から、玉竜旗高校剣道大会が3年ぶりに開催された。3年生にとっては最後の試合となり、今まで稽古に励んできた力をしっかりと発揮するべく、大会へと臨んだ。

女子団体 1回戦

1回戦目は、岐阜の郡上と対決。先鋒本多が勢いを作り、得意の面で決める。あつという間に中堅まで行くと、先に取られたものの、取り返して引き分けとした。流れは良かったがその後、相手副将に2人を抜き返され、副将同士で武久が粘って引き分け、大将戦となる。3分が経過して、延長となった瞬間、相面の打ち合い。気合で勝った角に軍配が上がった。何とか一回戦を突破することができた。

審判	藤田/丸田/山田					
2	D-1-12	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
郡上	花井	和田	鷺見	池田	山田	角
筑前	本多	清水	中村	武久	角	角

2回戦

2回戦目は、佐賀のシード校敬徳と対決。非常に力のある学校であり、食らいついていったものの、主導権を握られ、抜かれてしまう。武久が良い所を打ち先取したものの、取り返されてしまい、引き分けとなる。そのまま相手の中堅で試合を終えることとなった。女子はまだまだ若いチーム。これからの1年で鍛え直し、またこの場に戻ってきたい。

2	D-2-16	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
筑前	本多	清水	中村	武久	角	角
敬徳	沖田	小野原	中山	井上	米岡	米岡



男子団体 1回戦

男子は、京都の福知山成美と対戦。結論から言えば、勝てない相手ではなかった。しかし、コロナルールと3分間の試合、玉竜旗独特の流れ、色々なことも重なり、僅かな勝機を逃してしまっただけ。3年生も十分に満足のいく試合ではなかったと思う。とはいえ、敗れはしたものの、これまでに死にも狂いで稽古に取り組み、遠征で県外に足を運び、様々な場面で成長し、身に付けたことは決して無駄ではなかった。きっとこれからの人生で必ず役に立つだろう。いや、役に立ててもらわないと困る。自分の思いを先輩へと託し、先輩は次の試合へと向け進みだして欲しい。本当にここまでお疲れさん。

審判	若本/利カ/平尾					
10	H-1-17	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
福知山成美	森	前田	大野	安井	吉田	吉田
筑前	國友	永尾	石川	高橋	福井	福井



筑前剣道部監督 白水清正

新チーム始動！！先輩の想いを胸に、もう一度目標を見据え

キャプテン **男子**
永尾 巨輝

TEAMスローガン
己の勝利に近道なし
～日々、自分更新～



キャプテン **女子**
角 双葉

TEAMスローガン
百折不撓～何度でも立ち上がれ～

新チームに変わり、自分がキャプテンとなって、これまで3年生の先輩方の姿を見て、感じたこと学んだことを無駄にせず、責任感を強く持ち先輩たちに伝えていこうと思います。男子は2年が1人、1年が6人と少数ですが、稽古中の声掛けや雰囲気作り、チーム同士の共有を怠らずに新チームの目標でもある【自分を日々更新】していこうと思います。顧問の先生の熱い御指導、お世話になった先輩方、応援してくださる保護者の皆様、共に戦うチームメイト、今の状況でも剣道が満足してできる環境に常に感謝の気持ちを持てることなく、ここから全力で努力していこうと思います！応援宜しくお願いします！

今までは、若いチームだったが、これからは勝って結果を出さないといけない。他の新チームより多く試合経験を積み、土台ができているところは私たちの強みであり、早く抜け出すチャンスをつかんでいる。しかし、今のままでは勝てない。どこを目指し、どんな自分になりたいか、一人ひとりが常に闘志を燃やし、本気で目標を実現する努力を続けなければならない。私は主将として、チームの【核】になる。剣道はもちろん、生活面でも模範となり、周りを巻き込み、チーム全体を引き上げ、引っ張っていく。筑前剣道部の伝統を受け継ぎ、さらに自分たちが新しい伝統を作っていく。強い覚悟で前を向いて進んで行きたいと思えます！



◎目標
県制覇
全国制覇

◎目標
県制覇
全国制覇